

東燃ゼネラル石油株式会社

2007年1-3月期業績および中間・年間予想

2007年5月15日



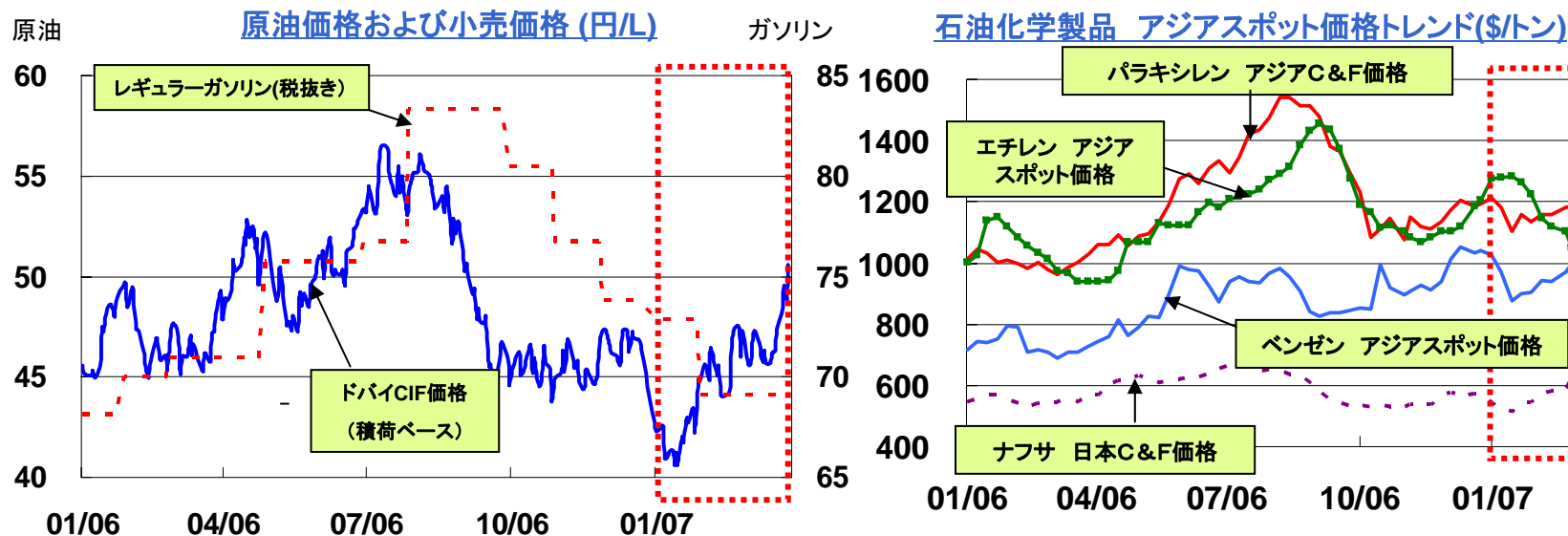
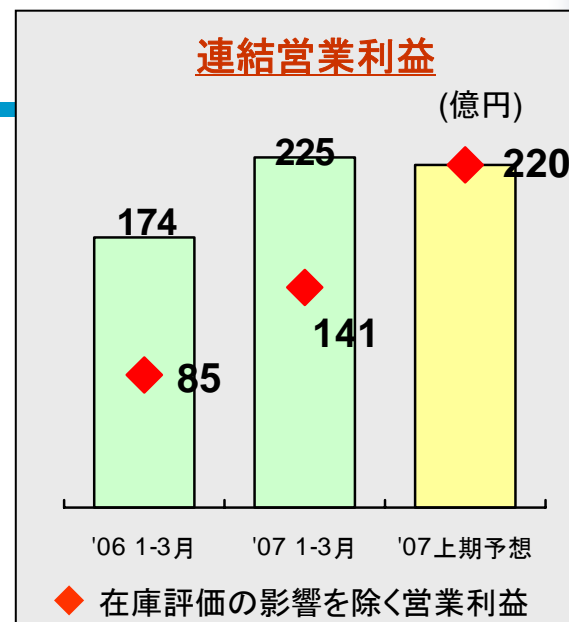
見通しに関する注意事項

この資料に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通しに関する事項は、日本および世界経済の動向、原油価格、円ドルの為替レート、需給の変動に大きく影響を受ける業界の競争状況などにより影響を受けます。これらの影響により、実際の業績は本資料で記載した見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

業績ハイライト

■ 2007年1-3月期の営業利益は前年同期比で改善

- » 石油部門における当社グロスマージンの改善
 - 業界他社より約1ヶ月早く原油価格を認識することによるマイナスの影響は前年同期に比べ軽減
 - ただし、2月以降の原油価格の上昇により、マージンは悪化傾向
- » 石油化学製品は堅調なマージン水準を維持
 - 活発な需要に支えられ、基礎化学製品の業績が貢献
- » 在庫評価は増益要因
- » 業績および配当の見通しは変更せず



(公表資料をもとに当社にて作成)

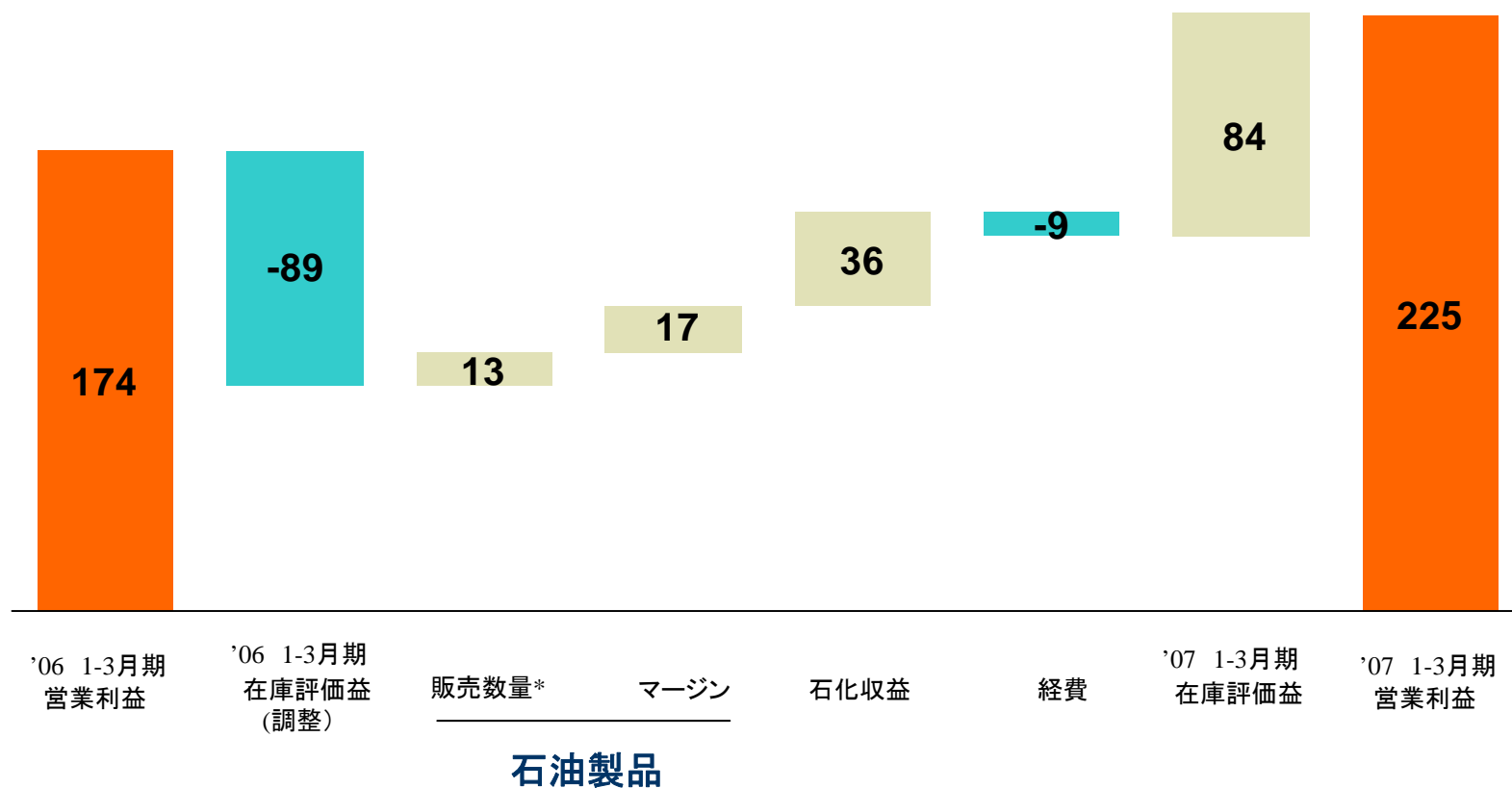
損益計算書 [1-3月期、連結]

(億円)	'06 1-3月期	'07 1-3月期	増減
売上高	7,689	7,088	-601
営業利益	174	225	52
経常利益	196	236	40
特別損益	-1	0	1
当期純利益	117	144	26
在庫評価の調整	-89	-84	5
調整後営業利益	85	141	57
石油部門 他	-50	-27	24
石油化学部門	135	168	33

営業利益の要因分析

[1-3月期業績の比較、2007年 vs. 2006年; 連結]

(億円)



* 主要製品を基準とする(5ページ参照)

販売数量/稼働率

- 前年同期と比べ、ほとんどの油種で販売数量が減少 / 灯油の減少は暖冬の影響 / 軽油は輸出を拡大
- 輸出の機会を含め、収益性重視の販売に注力
- 和歌山工場での製造プラントの定期修理により、芳香族製品の販売が減少

石油製品 (連結、バーターを除く)

(千KL)		'06 1-3月期	'07 1-3月期	増減		業界 増減
製品	ガソリン	2,884	2,793	-3.2%		-2.4%
	灯油	1,440	1,310	-9.0%		-15.9%
	軽油	1,103	986	-10.5%		-2.1%
	A重油	909	920	1.2%		-16.8%
	C重油	731	595	-18.7%		-26.2%
	LPGその他	935	739	-21.0%		N/A
部門別	販売部門 (ゼネラルブランド向)	2,078	1,865	-10.2%		
	精製部門 (エッソ/モービル/その他向)	5,925	5,478	-7.5%		
	小計	8,003	7,343	-8.2%	主要5油種 -6.5%	業界 主要5油種 -11.2%
	その他*	1,926	2,013	4.5%		
	総計	9,929	9,356	-5.8%		

*その他*は、原油、輸出、国内のエクソンモービルグループ内の転送取引などを含む

石油化学製品 (連結)

(千トン)	オレフィン類他(東燃化学分)	469	471	0.4%
	芳香族(東燃ゼネラル石油分)	217	171	-21.2%
	石油化学製品合計	686	642	-6.4%

設備稼働率 (常圧蒸留装置ベース、単体/連結)

87%/82% 86%/79%

88%

業績予想 [連結]

■ 2月に発表した2007年の業績予想に変更なし

» ただし、1-3月期以降の市況動向にともなう増減益要因に注視する必要あり

- 製品価格の動向にもよるが、急激な原油価格の高騰は収益圧迫要因
- 化学事業の好市況は収益押上げ要因

(億円)	'07年1-3月期 実績(B)	業績予想(2月発表)		(上期予想との差)
		'07年上期 (A)	'07年通期	'07年4-6月期 (A)-(B)
売上高	7,088	15,100	30,300	8,012
営業利益	225	220	510	-5
経常利益	236	220	520	-16
特別損益	0	-10	-20	-10
当期純利益	144	130	300	-14
在庫評価の影響	-84	0	0	+84
調整後営業利益	141	220	510	79
石油部門 他	-27	40	110	67
石油化学部門	168	180	400	12

補足資料

2007年5月15日

キャッシュ・フロー、借入、資本 [連結]

(億円)

営業活動 / 投資活動

税引前当期利益	236
設備投資額/減価償却費	-25
たな卸資産	-45
売掛金/買掛金/未払揮発油税等	-287
法人税支払い	-84
その他	49

財務活動

借入金を増(減)	254
配当金の支払額	-100
その他	-1

現預金の増減

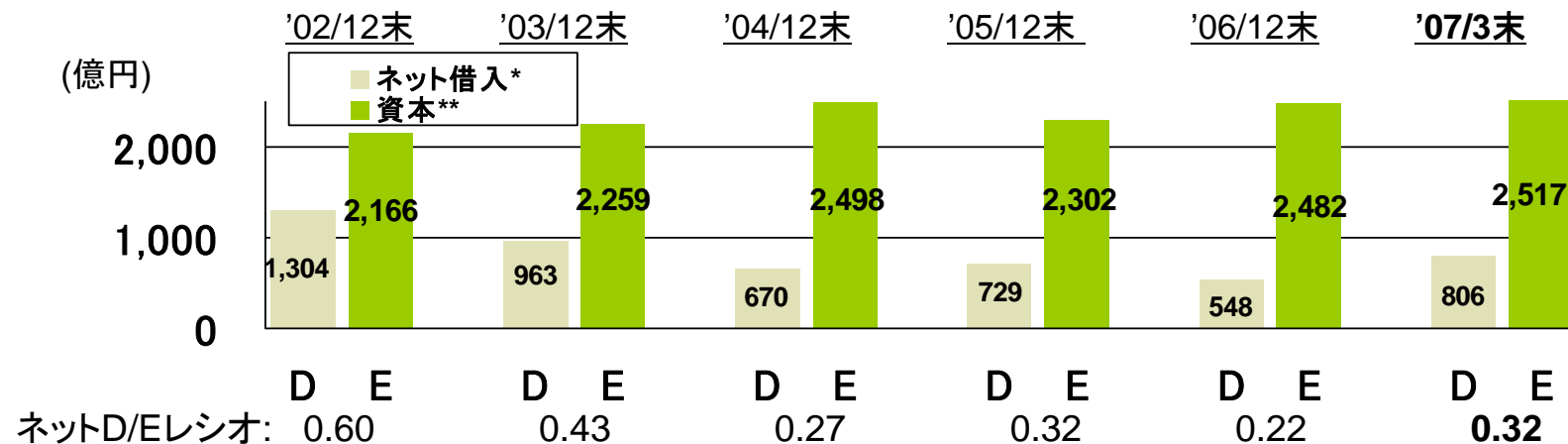
'07 1-3月期

-157

153

-4

- 1-3月期の一時的な要因(期末が銀行休業日であったことの売掛金への影響)が運転資本に影響し、3月末のネット借入が拡大
- 今年12月期末のネットD/Eレシオの見通し17%は変わらず
- 健全な財務状態を維持



*現預金・貸付金等の影響を除いた借入金、**少数株主持分を除く純資産